

稲沢市水道事業経営戦略改定【概要版】（計画期間：令和7年度～令和16年度）

1 経営戦略改定の趣旨

稲沢市水道事業は、市の総合計画を上位計画とし、水道事業の現状と将来見通しを分析・評価することで目指すべき将来像を描き、その実現のための方向性や実現方策を示す計画として平成30年3月に「稲沢市水道ビジョン」に含める形で「稲沢市水道事業経営戦略」を策定しました。経営戦略は、計画期間を2018年度（平成30年度）～2027年度（令和9年度）の10年間とし、施設や設備に関する投資とその財源見通しを試算した上で投資以外の経費も含めて収入と支出を均衡させた投資・財政計画を策定し、計画的に経営に取り組むことで、将来にわたって安定的に事業を継続することを目的とした中長期的な経営の基本計画です。

近年の人口減少等に伴うサービス需要の減少、物価高騰や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境が厳しさを増す中、将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくため、経営戦略の改定により経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められています。

2 水道事業の概要

稲沢市・祖父江町・平和町の合併に伴い、平成17年4月に事業認可（合併創設）を受け、今日に至り、令和5年度末における給水人口は133,133人、1日平均配水量は40,765m³です。

(1) 施設

地下水による自己水源が約6割、愛知県営水道から4割を受水しており、保有する水道施設は浄水場が2か所、配水池が7か所です。
市内全域に供給する配水管の総延長は、令和5年度末時点で約1,023kmです。

(2) 経営指標による現状分析

経常収支比率、料金回収率は類似団体平均及び全国平均と比べて良好ではあるが、給水収益の減少等により悪化しています。
一方、管路経年率は高い水準にあり、引き続き継続的に老朽管の更新が必要となります。

3 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

稲沢市人口ビジョンを基に給水人口を推計しています（人口問題研究所令和5年予測値に近似）。今後は減少が見込まれます。



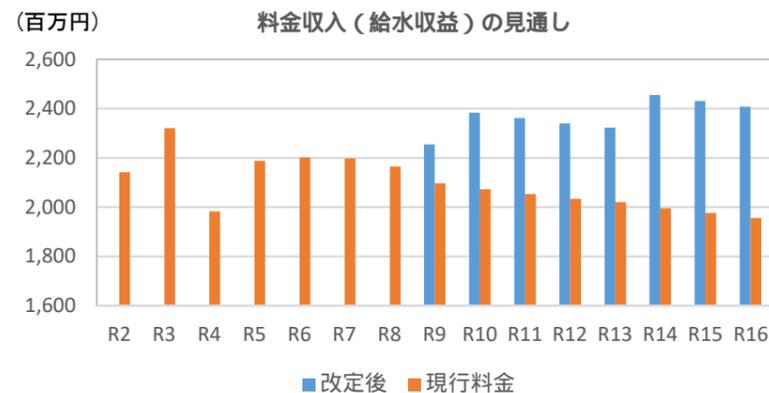
(2) 水需要（有収水量）の予測

実績値ではコロナ禍で一時的に水需要が増加しましたが、給水人口の減少や節水機器の普及等により、今後は減少が見込まれます。



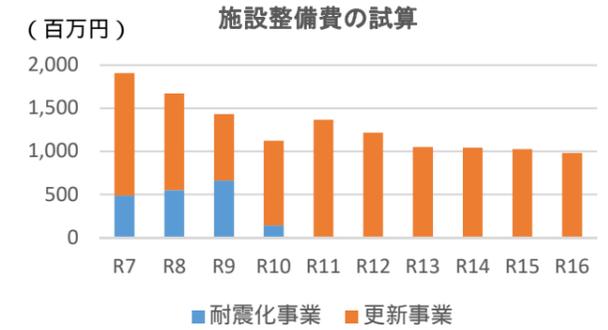
(3) 料金収入の見通し

有収水量×供給単価（R7予算数値）で推計しており、減少が見込まれます。減少によりR9年度より継続的な赤字が見込まれ、収支均衡とするため料金改定を見込んでいます。



(4) 施設の見通し

浄配水場の施設整備については長期計画により、アセットマネジメントを活用して適切な更新時期を設定し、計画的に行っていきます。
管路の耐震化については、基幹管路が令和9年度、重要主要支線が令和10年度に完了見込みであり、その後は老朽管の更新にシフトし、安定給水と耐震性の向上を目指します。



4 経営の基本方針

稲沢市水道ビジョンに掲げる「お客様とともに歩む水道」基本理念とし、引き続き次の3つを経営の基本方針とし、多様化するニーズに応えるとともに、最も重要なライフラインを支える公営事業として経営基盤の強化を図っていきます。

- (1) 安全 ～すべてのお客様が水をおいしく飲める～
- (2) 強靱 ～災害に強いしなやかな水道を構築～
- (3) 持続 ～健全かつ安定的な事業運営を継続～

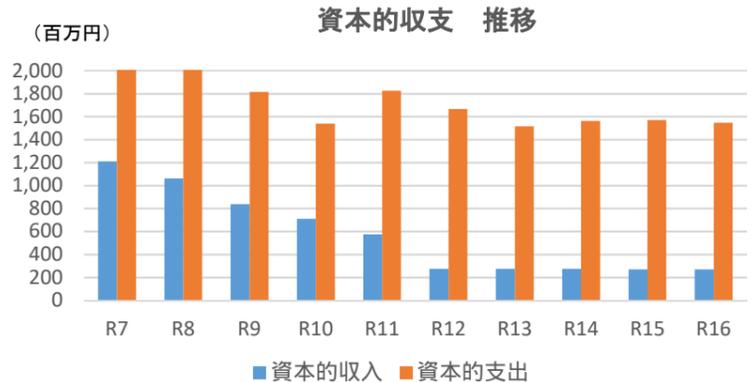
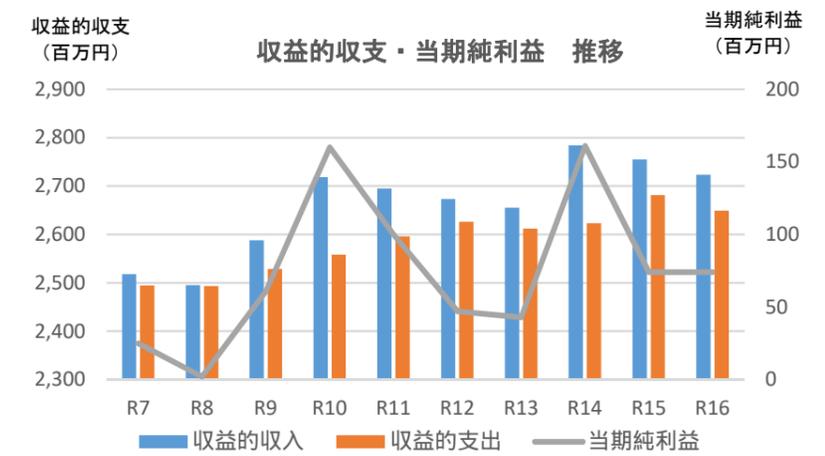
5 投資・財政計画（収支計画）

経営の基本方針を踏まえ、収入と支出を均衡（毎年度純利益を確保）させた計画としました。

投資の試算に当たっては、物価・人件費の上昇等、近年の社会経済情勢の変化を加味した上で、施設・管路のダウンサイジング等による効率的な投資に努めるとともに、更新時期の偏在を解消するために投資額を平準化し、財源との均衡を図っています。

財源の試算にあたっては、計画期間内における黒字を基本としています。その中で、継続的な赤字が見込まれる令和9年度以降に料金改定を見込んでいます。その際、市民生活等への急激な負担増加を緩和するため、2段階での改定を想定しています。

また、投資負担の平準化と世代間負担の公平性を確保するため、企業債の発行を適正に管理します。



※資本的収支では赤字が生じていますが、この赤字は内部留保資金により補填します

6 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

毎年度、決算公表後に経営戦略の収支計画との乖離や他計画との内容の整合を検証し、後年に影響が出る場合は計画の見直しを進めます。また、広域化などの新たな取り組みが具体化した場合は、その内容を追加し、投資・財政計画に反映します。また、毎年進捗管理を実施し、計画の中間年である令和11年を目途に中間見直しを行います。